

静原小 学校通信

7号

平成28年10月3日
京都市立静原小学校
校長 林 久徳

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックから見てきたこと

校長 林 久徳

早朝や深夜のテレビ放送に、生活のリズムがくずれてしまった人も多かったリオデジャネイロオリンピック。次回開催が東京ということもあり、いつもよりも日本中が盛り上がりを見せたような気がするのはわたしだけではないでしょう。この大会には205か国、およそ11000人の選手（日本人選手約350人）が出場し盛り上がりました。その結果日本チームは金メダル数順で、世界6位。総数順位は41個で7位でした。

また、パラリンピックがオリンピック開催の後、その地で行われるということが最近は多くの方々に浸透し、注目度も上がり、有名選手の名前がマスコミで取り上げられることも多くなってきたとも言えるでしょう。注目選手についてのインタビューやドキュメンタリーの放送も多くなってきており、確実に障害のある方々への理解も深まってきていると思われます。また、わたしとしては、ほんの少しかわりのある方が出場されるということで、それらの競技のテレビ放送を楽しみにしていたのですが、時々入る試合結果だけで、いっこうに見かけることはなく、いつしか終わりを告げていました。このパラリンピックは160か国、およそ4350人の選手（日本人選手132人）が出場していたそうです。その結果日本チームは金メダルを基準とする順位で世界64位。総数は24個で16位。

この2つの大会から、人数や割合、メダル数などを比較しようというわけではありませんが、その差は歴然としているように思われます。もちろんどのスポーツもどの選手も個々人が想像を絶するような努力や苦労を重ねてきているに違いはないのですが、それらを支える社会や制度、スポンサーなどで大きな差があることは否めないでしょう。



恥ずかしいことですが、日本ではまだ障害に対する差別や因習が確実に残っていると言わざるを得ません。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック。日本での開催ですから当然大盛り上がりすることは間違いありませんが、この大会が日本の障害者スポーツを見直し、また、日々の生活の中での障害者の社会参加の充実、障害者差別の撲滅に役立ってくれることを祈るとともに、これからの4年間をその実現に向けた着実な日々に、わたしたちも努力していきたいと思うのです。

学習支援員交代します

大内竜仁に代わり、10月より田中元秀（たなか もとひで）が勤務いたします。基本的に、月・火・木・金の勤務になります。

敬老会

静原地域の敬老会に例年子どもたちがお招きいただき、お祝い

の言葉をお伝えしたり、楽器を演奏したり、歌ったりして、静原のおじいさん、おばあさんに喜んでいただいています。始めに出演したのは、太鼓クラブのメンバーです。低学年が中心ですが、元気な演奏



に大きな拍手が巻き起こりました。その後、1年生と参加者の皆さんで静原校の校歌を歌いました。出し物の最後はやはり静原伝承太鼓です。1年生から4年生が力を合わせて演奏しました。その後の演目の落語をお年寄りと一緒に楽しませていただいた子もいました。地域の皆様、保護所の皆様、ありがとうございました。



稲刈り

学校運営協議会体験活動部会の皆様にお世話になり、稲刈りを実施しました。9月は、台風がたくさんやって来たように、日照時間が短



く、予定日を1回延期しての実施となりました。稲刈りは、全部手刈りで、わらでくくって干すまで、児童がしました。稲の刈り方や刈った稲のくくり方など教えていただきながら活動しました。運動会直後でもあり、「運動会、がんばっていたね。」などの言葉かけもしていただきました。稲刈りをしながら、学校生活についてのお話もすることができました。



日曜運動会

天候に恵まれ、静原小学校・静原学区合同大運動会が開催されました。子どもたちも地域の方も一緒に入場行進をして



開会式が始まりました。たくさんの方々に見ていただける事、応援していただける事をうれしく思います。昨年より、児童の活躍場面が増えています。主体的に進めていこうと練習の時から頑張ってきました。玉入れや盆踊りは地域の方と一緒にの種目です。楽しく交流できました。



児童はどのような姿になるかイメージをもち、目標にして練習してきました。大きな声で、力いっぱい、運動会当日を終えることができました。後始末は、地域の方や保護者の方のご協力により早く片付けることができました。ご参観、応援と共にありがとうございました。

運動会感想です。

1年

- ・いま一ばんがんばっていることは、かいかいしき、へいかいしきです。たとえば、まえととりにあわせたり、おはなしをきいているときに、しせいをただしたりすることです。ほかには、あしをしっかりとあげたり、てをしっかりとうごかしたりしています。たのしみにしていることは、たまいれです。なぜかという、たまがはいったら、うれしいからです。ほかは、たまがあいてのほうよりはいったら、うれしいからです。



- ・ぼくが一ばんがんばっていることは、おうえんがっせんです。たとえば、大きなこえをだしたり、ならぶときに、ばしょをまちがえたりしないでならぶことです。うんどうかいでたのしみにしていることは、リレーです。なぜかという、すごくながくはしってすずしいからです。

- ・いまれんしゅうで一ばんがんばっていることは、ぜんこうだんすです。ぜんこうだんすでは、てをびしっとしたり、まちがえないようにしたりしています。たのしみにしていることは、リレーです。なぜかという、はしっていてこされてもつぎのひととおなじはやさになって、おもしろいからです。

- ・ぼくが、一ばんがんばっているのは、ぜんこうだんすです。たとえば、ひざをあげるところです。れんしゅうのときにてをびしっとあげるところをがんばっています。うんどうかいでたのしみにしてるのは、リレーです。なぜかという、たのしいからです。リレーでは、はやくはしりたいです。

- ・ぼくが一ばんがんばっていることは、こうかです。こうかのれんしゅうをしているとき、くちを大きくあけています。たのしみにしていることは、たまいれです。なぜかという、いっぱいはいらないけどたのしいからです。



- ・ぼくがうんどうかいで一ばんたのしみにしていることは、リレーです。なぜかという、リレーではやくはしれるからです。ぼくがうんどうかいで一ばんがんばっていることは、かいかいしき、へいかいしきのはなしのあいだのしせいです。たとえば、てとあしをとめて、はなしをきいたらいいとおもいます。



2年

- ・ぼくはとくに、だん体えんぎをがんばっています。手をしっかりとのばすことや、大きくまわすことができるように、れんしゅうしています。うんどう会では、れんしゅうのときよりも、しっかりと大きく手をまわすことができました。おうえんでも、大きな声を出すことができました。白組が勝ってうれしかったです。

3年

- ・ダンスをかつこよくおどるのとリレーで力いっぱい走れるようにがんばります。ダンスはあまりかつこよくおどれなかったけど、リレーで力いっぱい走れたのでよかったです。
- ・ゆうしょうしてもしなくても、全力を出しきれるようにがんばります。しょうがい物走や80m走などでは1いになれなかったけど、がんばって走れました。
- ・リレーのとき、力をふりしぼって走れるようにがんばろうと思いました。おうえんがっせんるとき、大きな声を出そうと思います。リレーではやく走れたので、うれしかったです。おうえんがっせんるとき、大きな声を出せたのでうれしかったです。



3年

- ・だん体えんぎをてきぱきおどりたいです。
だん体えんぎが本番にてきぱきおどれたので、うれしかったです。
- ・運動会では、声がかれるくらい声を出したいです。だん体えんぎのふりつけをかんぺきにおぼえておどりたいです。
リレーで、バトンパスをスムーズにできるようにがんばりました。
- ・運動会ではリレーではやく走れるようにがんばりたいです。



4年

- ・ぼくは、運動会の中でハードル走を力いっぱい走ります。なぜなら、キャリアデザインで決めたからです。練習では、3歩のリズムを意識してきました。ハードル走をがんばります。
- ・ぼくは、高学年として1年生が分からないことを教えたり、自分の仕事をきちんとしたりすることで、いい運動会にしたいです。放送係の役割では、落ち着いてはっきりとプログラムの説明をすることを目標にしました。本番では、間をあけて聞き取りやすい速さで話すことができました。
- ・ぼくは、大きな声を出して運動会を盛り上げたいです。特に、応援合戦やみんなが一生懸命走っている時に、大きな声で応援します。自分の役目の得点発表でも、大きな声で言えるように頑張ります。
本番では、目標通りに大きな声を出せたと思います。



5年

- ・ぼくががんばったことは、運動会であきらめずに最後までしたことと、リレーで1周ぬかされていても最後まであきらめずに本気で走り切ったことです。
あと、見つけ出せ静原GO!の騎馬でスピードを上げすぎてこけそうになったけれど、そこからだらだらせずに協力してできたと思いました。これからの学校生活では、運動会で学んだあきらめない力や協力などをして学校生活にはげんでいけたらよいと思いました。



- ・私は、この運動会という行事を通して、一人一人の大切さを学びました。このように感じた理由は、団体演技や団体競技をするとき、一人だけ踊りが上手だったり、走りが速かったり、力が強かったりしても、個人競技では勝てるけれども、団体競技では勝てないからです。また、一人がしっかりとしない限り、みんながしっかりとしないのも理由の一つです。このことから、みんなで心をつにつけると、とても大きな力になるということを、みなさんにも知ってもらいたいです。



- ・最初、スローガンを見たとき、「勝っても負けても最後まで練習してきたことを力いっぱい発揮しよう。」と思いました。一番心に残っているプログラムはリレーです。練習したときは白組が勝ったけど実際やってみると、どちらも1年生が接戦で、最初は負けていました。でも、最後4・5・6年生の意地を見せて白組が勝ちました。優勝は白組でした。どちらも一生けん命やっていたし、たくさんの笑顔が見られました。本当に楽しかったし、いい思い出になりました。
- ・今日の運動会で一番がんばったことは応援合戦です。おなかから大きな声を出せました。練習のときに意識したからだと思いました。来年はもっときちつと動けるようになりたいです。あきらめずにがんばったら点差がちぢまったのでうれしかったです。次からそのことを大切にしようと思いました。たくさんがんばれて楽しかったです。

6年

- ・今年は、小学校生活最後の運動会でした。赤組の団長として責任がいっぱいでした。応援では、練習を始めたときは、大きな声は出せませんでしたが、段々出せるようになり、みんなもがんばってくれました。100m走やハードル走では、少しくやしい思いをしたけれど、集団演技や組体操では、練習した成果が出せました。赤組は、負けましたが、がんばったのですがすがしい気持ちです。

